



Green Gift プロジェクト

きたネット PRESENTS ～親子で参加しよう、自然体験プロジェクト～

「鵜川源流から海へ」森歩きと川遊びの1日・・・実施報告

～水の循環を肌で感じる1日～

源流から135kmで太平洋に注ぐ鵜川。森と川と海の大きな循環の中ですべての命が育まれています。鵜川の源流をたどる森歩きと、中流域での川遊びを通して、源流から海の大きな自然の循環を全身で感じます。しむかっぷの森と川で育まれたエゾシカや山女魚（ヤマメ）を焼き火料理で楽しめます。



- 開催日 2014年9月13日（土）
場 所 占冠村 奥トマム源流の森・中流域の河原
内 容 源流の森を歩く～中流域へ移動～焼き火料理でランチ～川遊びを楽しむ
参加者 23名（うち子ども7名）

本来、7月27日に実施予定でしたが、天候不順のため子尾の日に日程変更されました。札幌近辺は大雨で不安定な空模様でしたが、占冠は晴れていて気持ちのいい1日でした。数名の欠席があり少ない参加者でしたが、子どもにもおとなにも楽しんでいただけるプログラム内容でした。

まずは参加者全員でオリエンテーション。1日の流れを確認したあと、バスに乗りあわせて鵜川源流がある奥トマムの森へ向かいました。



鵜川の源流までの道すがら、樹木についてヒグマの爪あとや食痕を発見したり、ドングリを観察したり、植物の種を飛ばして遊んだり、普段とは違う、自然を見つける視点で森を歩きました。森の中には楽しい遊び道具がたくさんあるのです。

源流は小さな水たまりでした。その水は135km下ると大きな海に出ます。海に出た水は雲となり、雨となってこの森に帰ってきます。また鮭やサクラマスは、100km以上もこの川を遡ってきます。鵜川周辺の農業も林業も観光も、すべてこの大きな水の循環の中で営まれているということ学びました。

歩道からロープ伝いながけを降りた所にある源流は、水が湧き出しているようでプクプクと空気が地面から出ていました。水は冷たく澄んでいて、飲んでみると美味しい！この水が海に流れ着くまでに、どのくらいかかるのだろう…。



中流域の河原へ移動する途中、道路にヒグマの足あとを見つけました。子どもたちは自分の手と比べて大きさに驚いたり、足あとをたどってデントコーンの食害を見つけて怖がっていました。自然に生きる野生生物の生命力の強さを感じさせられました。

河原ではランチと川あそびを楽しみました。

この日のランチメニューは、エゾシカのローストとオハウ（アイヌ語で汁）、エゾシカソーセージ、山女魚の塩焼き、占冠産野菜とおにぎり。いずれも源流から海の水の循環と森が育んだ食材たちです。飲み物も川の水で冷やしました。みなさんは、河原の石に腰掛け、おなかいっぱい森のめぐみを味わっていました。



食事のあとはお待ちかねの川あそび。網でドジョウをとったり、魚釣りをしたり、子どももおとなも川の中でずぶ濡れになっていました。気温は 22 度前後でしたが、子どもは元気いっぱい、おとなは子どもにかえて川あそびを楽しんでいました。笹舟やイタドリ笛を作ったり、焚き火をしたり、自然の中での遊びは尽きることがありません。



ゆったりした時間の中で、森の空気、川の水の冷たさ、大きな水の循環、森や水から生まれた食材を堪能した 1 日でした。



Green Gift プロジェクトとは

東京海上日動火災保険株式会社が、ご契約時にお客様に「ご契約のしおり(約款)」等をホームページで閲覧する方法を選択いただくことにより、紙資源の使用量削減額の一部で環境保護活動をサポートするものです。

2013年より各地域の環境NPOと協力して、主に子どもたちとそのご家族を対象とした環境保護に関する体験活動を行います。

環境保護に関する体験活動を通じて、子どもたちが身近なところから環境について考えるきっかけを持つことによって、持続可能な社会が実現することを目指しています。

共催  日本NPOセンター

協賛  東京海上日動

協力  環境省

主催：認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク、スローフード フレンズ北海道

共催：認定 NPO 法人日本 NPO センター

協力：環境省北海道環境パートナーシップオフィス

協賛：東京海上日動火災保険株式会社

後援：環境省

運営：しむかっぷふふふ協議会

運営共催：スローフードしむかっぷ